

第 14 回伊賀市総合計画審議会 議事録

開催日時	令和 3 年 7 月 21 日（水）9:30～12:00
開催場所	伊賀市役所 5 階 会議室 501
出席委員	乾 光哉（【1 号委員】社会福祉法人伊賀市社会福祉協議会） 森野 廣榮（【1 号委員】伊賀市環境保全市民会議） 小坂 元治（【1 号委員】一般社団法人伊賀上野観光協会） 服部 保之（【1 号委員】公益財団法人伊賀市文化都市協会） 岩崎 恭彦（【3 号委員】三重大学人文学部） 松山 隆治（【5 号委員】 — ） 澤野 政子（【5 号委員】 — ） 大北 薫（【5 号委員】 — ） 町野真由美（【5 号委員】 — ） 西口 真由（【5 号委員】 — ）
欠席委員	藤巻 恵（【1 号委員】伊賀市地域公共交通活性化再生協議会） 加納 圭子（【1 号委員】教育行政評価委員会） 有馬 幸司（【5 号委員】 — ）
議事日程	1 開会 2 あいさつ 3 議事録署名人の指名について 4 議事 （1）外部評価について （2）外部評価報告書の作成及び答申について 5 その他
議事概要	<u>1 開会</u> （事務局） 定刻となりましたので、ただいまから、第 14 回伊賀市総合計画審議会を始めさせていただきます。 それでは、事項に入らせていただく前に、何点かご確認・ご報告させていただきます。 ★資料の確認 資料の確認をさせていただく。 配付資料は、 ・評価シート ・資料 1 事前質問一覧 過不足等ご確認いただきたい。

★会議及び議事録公開の確認

本日の会議は運営規程により、会議を公開し、会議の傍聴を認めている。本日の会議を傍聴される方、報道関係者の撮影等について、ご了解、ご理解をお願いする。

また、会議録についても公開させていただく。

★会議成立の確認

本日は、委員の半数以上の出席をいただいているので、会議は成立している。

なお、本日は、「藤巻委員」「有馬委員」から欠席のご報告をいただいている。

それでは、お手元の事項に沿って進めさせていただく。

2. あいさつ

(事務局)

はじめに、岩崎会長よりごあいさつをいただく。

－会長 あいさつ－

みなさまおはようございます。本日もよろしく申し上げます。みなさまの任期中、今日が最後の会議ということになりますので、たくさんご発言いただければと思います。どうぞよろしく申し上げます。

(事務局)

ありがとうございます。以後の進行は会長にお願いさせていただく。

(会長)

では、事項書に沿って議事を進めさせていただく。

3. 議事録署名人の指名について

★議事録署名人の指名

(会長)

議事録署名人の指名は、本日は服部委員と澤野委員にお願いしたいと思う。よろしく願います。

4. 議事

(1) 外部評価について

(会長)

それでは、本日限られた時間の中でみなさんに評価をしていただき、また、コメントをいただくということなので、速やかに議事を進めてまいりたい。

第2次再生計画の最終年ということで、外部評価を全体通じて行っていきたい

ということについては、前回もご説明させていただいた通りです。前回かなり限られた時間の中でみなさんに宿題をお願いした。たくさんのご質問をいただきありがとうございます。質問いただいた事項については、資料1にまとめてあるので、参照いただきたい。

また、前回の資料では進捗度やアンケート結果について、それぞれ別の資料という形でまとめていただいたが、本日お手元に配布したA3の資料では、ひとまとめにしたものを用意いただいている。分野別に7分野それぞれについて、みなさんに見ていただきたい観点をまとめている。本日は、この資料を基に評価をしていただきたいと思います。

【評価の視点】

評価の視点について、確認をしますが、

A「成果指標の進展度」

B「まちづくりアンケートの結果」

C「4年間の推移」を踏まえて、評価シートの右上に担当課の分析が記載されている。これが内部評価です。私たちが従来から行ってきたのは、この市の内部で行われた内部評価に対しての外部評価ですので、進展度、それから4年間の上昇率に対してその変動を踏まえた分析が出来ているかどうかということについて、みなさんにチェックをしていただきたい。要因分析がしっかりできていれば、内部評価としては良いということになりますし、他方で分析が不十分であれば、内部評価として十分ではないということになりますので、特にその内部評価として不十分な点について、ご指摘を賜りたいと思う。評価が適正ではない、さらなる分析や見直しが必要といったことについては、どういった見直しが必要かということについて具体的な形でコメントを附していただければと思う。評価シート右下のコメント欄に、内部評価としてどのように不適切なのかということについて少し具体的な形でコメントいただければと思う。

ここまで、本日の外部評価の仕方について意見・質問等あるか。

ー意見なしー

①健康・福祉分野

(会長)

それでは7つの分野ごとに進めて行くということなので、最初試みに10分間、「1健康・福祉」の分野について、見ていただきたいと思う。10分間で足りないようであればもう少し時間を確保しようと思うが、まずは試みに10分間で見ていただければと思う。はじめに事務局から説明をお願いする。

(事務局)

【評価シート、資料1 事前質問一覧】

【健康・福祉分野の説明】

(会長)

ただ今の事務局の説明は、進展度が「×」のもの、4年間の上昇率についてマイナスの大きいものを中心にご説明いただいたが、みなさんの評価についても基本的には全てを見るというよりは、進展度が良くないもの、上昇率についてずっと低いままのものや、あるいは満足度・参画度が下がったものについては市民の方から施策についての理解が得られていないということだと思うので、そうしたものを中心に外部評価をしていただきたいと思う。特に評価として問題がないということであれば、今回は特別なコメントはいらないと思うが、見直しが必要、不適切な評価だというものについてお気づきのところありましたら、評価シートのコメント欄に施策NO.とともにコメントを附していただければと思う。それでは10分間お時間をとらせていただく。

－評価シート記入【1.健康・福祉分野】－

(会長)

最後、外部評価の結果のとりまとめについては、後程お諮りをしようと思うが、本日みなさんからいただいたコメントについては、とりまとめをさせていただき、それを評価結果とさせていただきたいと思う。ご発言いただかなかったとしても、シートに記入いただければとりまとめさせていただくので、その旨も合わせてご承知おきいただきたい。

ここからは、評価に対して適正な評価がされているだとか、事業についてのご提案もあろうかと思うが、そうしたものについては最後みなさんのシートをとりまとめさせていただくような形で反映させていただく。この場では、適切な評価ができていないのではないかという部分についてご指摘をいただき、それに対してのコメント等を教えていただければと思う。いかがか。

(委員)

施策NO.3「福祉総合相談」の成果指標「複雑な個別ケースが解決した件数」だが、今、国でも取り組もうとしているひきこもりについて、昔からひきこもりはあるが、実際にひきこもっている個別のケースに対して訪問等、行政としてどういう働きかけをすれば解決するかといった部分が見えてこない。

施策NO.7「社会福祉・地域福祉」で、コロナでサロンができなかったということだが、実際に工夫をされ、少人数で開催しているところもあり、工夫をしてほしかった。そこを行政として、どのようにすればできるかといった相談体制が欲しかった。

(会長)

全般を通してコロナの影響がかなり大きかったと思うが、コロナでできなかったという分析でとどまっているものと、ウィズコロナ、アフターコロナを見据えて何をやるかという部分まで踏み込んでいるものと分析の濃淡がある。できれば、ウィズコロナ、アフターコロナを踏まえて何ができるかというところまでの分析を総じてしていただきたい。

(委員)

コロナ禍の考え方が盛り込まれているところと盛り込まれていないところがある。また、アンケートで満足度が前年度や4年間の推移で上がっているというのは違和感がある。

(事務局)

昨年度、コロナの関係でアンケートを Web 方式に変更した。これまで無作為抽出としていたものを、対象を16歳以上の市民全員に置き換えて実施した。その結果、回答の年齢構成も均等になり、それが満足度、参画度にも影響してきていると思う。例として健康づくりで見ると今回、参画度の数値が落ちている。2年前は高齢者の回答が多く、健康づくりに参加している、興味があるという回答が多かったが、今回、回答者の中の30代から50代の方の関心度が低かった。それが大きく影響していると思う。

(委員)

アンケートの手法を変えたのはいつのタイミングか。

(事務局)

昨年度から変更している。

(会長)

他いかがか。

時間が限られた中なので、言い足りないこともあると思う。コメント欄に記入いただければと思う。

②生活・環境分野

(会長)

つづいて②生活・環境分野についての評価を進めさせていただく。事務局から説明をお願いする。

	(事務局) 【評価シート、資料1 事前質問一覧】 【生活・環境分野の説明】 (会長) では、10 分間のシート記入をお願いします。 ー評価シート記入【2.生活・環境分野】ー (会長) 評価の適切さ、分析の適切さについてお気づきの点があればお願いします。 (委員) 施策 NO.12「環境保全」の成果指標2「市内河川環境基準達成率」について、分析欄に結果の数値があるだけで、この指標の達成に向けてどう努力をしたかといった分析がない。そもそも何かをしたのか。もし何もせずにこの指標を達成したのならば指標から外すべきではないかと疑問に感じた。 (会長) 重要な指摘だと思う。担当課にぜひ投げかけてほしい。 (委員) 施策 NO.9「危機管理」の指標2「自主防災組織の結成地区数」で、地区の意識向上がなにより大事だろう。自分たちは自分たちで守るということをもっと地域の方々が自覚しないといけない。また、訓練についても少ない。コロナが心配でできないということだろうが、人形を使って行なうなど工夫をすればもっとできると思う。 (会長) 目標値には達成することが望ましい目標値もあれば、必ず達成しなければならない目標値もある。自主防災組織は必ず達成しなければならない目標値だと思うので、それを踏まえた分析が必要。 (委員) 成果指標は当然、値で進展度を見ているが、例えば施策 NO.9「危機管理」の中の指標1「あんしん・防災ねっとの登録者数」は、利用者の活用度合い、満足度の指標もないと、登録者数が増えたのはよいが全く使われていなければ意味がない。コロナの情報もチェックでき、非常に良いことをやっているのだから、そういった数値の指標も今
--	---

後考えていかれたらどうか。それから、施策 NO. 10「消防・救急」で講習がコロナ禍で開催できなかったとあるが、開催できないのは当たり前の話で、コロナでできないという分析で終わってよいのか。オンラインで行うなどの工夫はされたのかどうか。

(委員)

救命講習の開催について、実際に計画をしては中止ということが繰り返されており、やらないことはない。講習に関わる者の資格取得等の準備もできてきている。自主防災組織については、現在 306 地区が結成済みということだが、実際、住民自治協議会の中の組織としてあると思う。独立した自主防災組織というものはかなり少ないと思う。住民自治協議会の自主防災組織だと区長がトップだが、任期により変わるということがあり、どこも例年通りの訓練等している事かと思う。私の地域においては一時期、独立した自主防災組織を立ち上げて 1 年は続いたが、その後消滅した。他の地区で独立した自主防災組織はあるのか知りたい。

(会長)

事務局から担当課に聞いていただきお答えいただければと思う。

(委員)

施策 NO. 9「危機管理」の自主防災だが、災害時の避難誘導で、要援護者等の名簿を作られているが、実際にその人たちを誰がどういうふうに誘導していくかということがはっきりと決まっていない。名簿はもらっているが、誰がするのかという話し合いができていない。自主防災の機能を働かせていくためには、行政として危機管理の人がそういった話し合いを区の中で持つ等していただかないといけない。名簿をもらうだけではいけないので、行政がしっかりと音頭をとってしていただきたい。

(会長)

量の評価だけではなく、質の評価もということだと思う。重要なご指摘だと思う。

③産業・交流分野

(会長)

つづいて③産業・交流分野について、事務局から説明をお願いします。

(事務局)

【評価シート、資料 1 事前質問一覧】

【産業・交流分野の説明】

(会長)

では、10 分間のシート記入をお願いします。

ー評価シート記入【3.産業・交流分野】ー

(会長)

何点かコメントいただければと思う。いかかでしょう。

(委員)

施策 NO. 19「商工業」で、「商工業活動を盛んにする」という施策キーワードがあり、成果指標として、「商工会議所・商工会の新規加入事業者数」がある。分析欄を見ると、「・・・・・・いただいている」という表現になっているが、これは行政が関与していないのか。だからこういう書き方しかできなかったのか。資料 1 の 6 ページの NO. 8 でこの成果指標について、「行政の直接関与に及ぶ成果ではないのではないか」という疑問が投げかけられているが、原課の回答が「指標の変更はできません。理由は相手方があることだからで、各主体が取り組んだ結果波及するもの」ということだが、ではなぜこの指標を置いたのか理解できない。関与できないものに対して、その数値を置くことを行政はどう考えているのか。もう一つは、満足度、参画度の上昇率を見ると満足度は 22.5% 上昇し、参画度は下がっているものの 58.2% と数値は良いが、市民が商工会や商工会議所の会員勧誘の実績を評価して踏まえているならこの数値は十分信用できるが、おそらく直感的に書かれるアンケートでそこまで咀嚼できないと思う。外部の関与できない団体を指標の中に取り込んで、この数値に誘導されるととんでもない結果が導き出される気がする。これを一つの施策にしてよいのか。分析が、自分の課はどうであったかという主観が一切ない。これを分析と呼んでよいのか。

(会長)

ご指摘のとおりで、厳しくお伝えいただければと思う。

(委員)

施策 NO. 22「起業支援」で施策キーワード「事業性、継続性のあるビジネスが創出できる」とあり、成果指標が「新規起業件数」で進展度「◎」となっている。それに対する分析が、「補助金制度に一定の効果があつた」ということのみ記載されているが、「継続性」という部分はどうなっているのか。新規の数値が上がればよいのか。補助金があるから起業しましたということでは、進展度「◎」として分析も終わってしまっただけでよいのか疑問に感じた。

(会長)

重要なご指摘だと思うので、お伝えいただければと思う。

(委員)

施策 NO. 15「観光」と NO. 18「中心市街地活性化」について、成果指標の進展度は「×」ということだが、これはコロナ禍を配慮した進展度か。全国的に見て、伊賀市がどれくらいのところにいるのかというものを進展度として組み込んでいただきたい。いがぶらやまちづくり企画塾、観光協会では DMO の立ち上げ等、いろいろ施策は実施している。このあたりはもう少し評価すべきで、「△」くらいでよいのではないか。

(会長)

進展度は目標値と実績値の客観的な指標だけで出るものだと思うが、それに対して分析で十分なフォローができていのかどうかということが重要。分析で、「達成できなかったが、これはやった」ということについてしっかりと記載していただきたいと思う。

(委員)

施策 NO. 20「産業立地」で上野南部丘陵地については、できるだけ早く開発して良い企業を立地してもらいたい。

施策 NO. 15「観光」の COVID19 という表現は、他と合わせて新型コロナウイルスへ表記を統一したほうがよい。

④生活基盤分野

(会長)

④生活基盤分野について、事務局から説明をお願いします。

(事務局)

【評価シート、資料 1 事前質問一覧】

【生活基盤分野の説明】

(会長)

ここは施策が少ないので、8 分ほどで記入をお願いします。

ー評価シート記入【4.生活基盤分野】ー

(会長)

では、何点かコメントをいただきたい。

(委員)

今回の項目だけの問題ではないが、全般的な考え方として何点か述べさせていただく。施策 NO. 26「公共交通」について、成果指標の進展度が「×」と「△」になっているが、全体的にもそうだが「×」「△」「○」「◎」の違いは何か。23～25の施策を見ても、目標値「100」に対して実績値「100」や「0」に対して「0」なので進展度「◎」ということだが、何も進展はしていないのではないか。目標に達しているだけなら「○」でよいのではないかと思う。施策 NO. 23 の指標 3 は目標値「92%」に対して実績値「100%」で、これなら進展度が「◎」になる意味は分からないではない。それぞれ根拠となる数値によって進展度合いが分かるものと分からないものがあるので、それを一律に「×」「△」「○」「◎」と付けること自体が問題なのではないか。これでいくと進捗度だけを見るので、順調に進んでいると思ってしまう。次の問題は、単なる行政の進捗度だけではなく、市民のアンケートの結果も合わせて判断するということで上昇率があげられていることは分かるが、例えば公共交通は進展度が「×」「△」で何とかしないといけないう状況の施策であるのに、上昇率で見ると満足度はアップしている。施策としては遅れていると行政も判断しているのに、アンケート結果の上昇率だけで捉えるとそれなりに満足しているように見える。そのあたりで、4年間の上昇率だけで市民の意識を判断するというのは非常に無理があると思う。全体の満足度が上がっている中でこの項目が上昇したと捉えるのは無理がある。アンケートの取り方自体も変わっている中で、単に上昇率だけで見ると非常に問題があるかと思う。特に公共交通については12.5%上昇しているが、実際的な順位は47位に後退している。最低でも全体の相対的な順位の変動で見ないといけない。あるいはアンケート自体の年々の上昇率を加味したうえで、それよりも上がっているか下がっているかといった指標にしないと、過去と比べて上がっているかで捉えるのは危険。さらには全体が上がっている中で上昇率がマイナスになっているものは、よっぽど下がっているものだという意識を持たないといけない。単に上昇率を見て満足度が上がっていると捉えると安心してしまような傾向があると思うので、そのあたりを精査しないと行政が思うような形にするためと勘繰られても仕方がないと思うので、アンケートの指標ももう少し市民の意識の度合いが分かるような基準を定めた方がよいのではないか。

(会長)

評価に対しての本質的な問題提起だと思う。ありがとうございます。

(事務局)

指標の進展度については前回配布資料4に記載している。47施策統一した基準として進展度を付けている。アンケートについては、今回、満足度、参画度の相関図をお示ししている。今日のシートは分野別しかないが前回配布した資料で47施策全体の相関図があり、当然、満足度、参画度共に上げていくということが全施策の目標である。

(会長)

全ての資料を見渡せばおっしゃるとおりだが、今回はこの1シートで評価をするというお願いをされていて、この1シートで評価するとご指摘のような問題があるということだと思うので、シートを以降どうやって作っていけばよいかという問題提起だと受け止めて検討いただきたい。

(委員)

施策 NO. 26「公共交通」で、市内バス年間利用者数の実績が落ちている要因として自家用車への依存やコロナの影響等分析いただいているが、バスは高齢者にとって一番必要な移動手段である。分析では「路線を維持継続させることが課題」と書いてあるが、高齢化に向けてバス停をどうするとか、路線をどうするとか、いろいろなことを考えて、維持させるということだけではなくどのような方法で維持していくかを具体的に記載いただきたい。これから私たちにとって一番必要な移動手段なので、そこをもっと示していただきたい。高齢者は満足していないと思うので、高齢者が満足できるような方法を具体的にお示しいただきたい。

(会長)

おっしゃるとおりだと思う。分析欄にしっかり記載いただきたい。

(委員)

コミュニティバス、代替バスは指標に含まれるのか。

(事務局)

含まれる。

(委員)

施策 NO. 24「住環境整備」の分析は、現状分析があり、令和2年度に自分の課が行った取り組みがあり、そこから導き出された結果があり、さらに今後について記載がある。こういう書き方をしていただくと一番分かりやすい。これを徹底いただきたい。

アンケートについて、満足度、参画度共に答える市民は全ての項目に回答しているのか、判断できる項目についてのみ回答しているのか、どちらか。

(事務局)

全てに書いてもらうようにしているが、空白で飛ばすことはできる。

(委員)

事情が分からないことも自分で判断している可能性があるということだ。

⑤教育・人権分野

(会長)

⑤教育・人権分野について、事務局から説明をお願いします。

(事務局)

【評価シート、資料1 事前質問一覧】

【教育・人権分野の説明】

(会長)

シートの記入をお願いします。

－評価シート記入【5.教育・人権分野】－

(会長)

お二方ぐらいからコメントをいただきたい。

(委員)

施策 NO. 29「男女共同参画」だが、成果指標のいずれもあまり取り組んでいない。市役所の審議会や各種委員会は行政でいくらでも人選できる。女性の団体も多くあるので、各審議会に合った団体の中からお願いしていただきたい。それは行政としてできることなので、できていないということはおかしい。各課での意識を持っていただきたい。また、地域の中において、女性役員の登用はほとんどないというのが現状だと思う。以前は、男女共同参画の課から各自治会に女性登用の調査や地域での取り組みについて年度初めまでに働きかけをされていたが現在はどのようにされているのか。意識を改革してもらえるような働きかけを行政からしていただかないと中々地域の中では変わっていかないので、ぜひそのような取り組みをしていただきたい。

(委員)

施策 NO. 29「男女共同参画」について、地域においても少しずつでも進んできてはいると思うが、まだまだ根深いものがある。伊賀市は男女共同参画都市を宣言して取り組んでいるのに、なぜ各会議等に働きかけをしてきていないのか。もっと積極的に取り組んでこそこのこれからの伊賀市だと思う。そういった働きかけが見えない。講習会等で男女共同参画の話をしていただき、市民みんなに行き渡るように取り組んでほしい。子どもや若い人たちは進んできているが、やはり昔からの根強い考えは変わってきていないので、行政から働きかけてほしいと思う。

⑥文化・地域づくり分野

(会長)

⑥文化・地域づくりについて、事務局から説明をお願いします。

(事務局)

【評価シート、資料1 事前質問一覧】

【文化・地域づくり分野の説明】

(会長)

シートの記入をお願いします。

－評価シート記入【6.文化・地域づくり分野】－

(会長)

お二方ぐらいからコメントをいただきたい。

(委員)

施策 N0. 35「文化・芸術」で、成果指標 3「文化ホールの入場者数」がコロナ禍の中、増加したのはミュージアム青山讃頌舎だけの影響か。コロナの影響はほとんどなかったのか。

(委員)

文化ホールは民間の施設等様々あり、どこまでを対象としているのか分からないが、数値が増えた要因が分からない。体感としては3分の1か4分の1くらいに減っている。

この分野の成果目標は個数を置いているものが多い。割合を設定するのがなぜ難しいのか。人口が減っている中で人数を増やす目標を置くのはどうなのか。

(会長)

文化ホールの対象施設については調べていただきお知らせいただければと思う。
もう一方くらいいいかがか。

(委員)

施策 N0. 36「歴史・文化遺産」の成果指標 1「文化財施設への入館者数」について、進展度「×」だが、分析を見ると屋内イベントは減少したが屋外イベントで大幅に入場者数が増加している。参画度も上昇しているので、一概に「×」ではなく「△」くらいの評価でもよいのではないか。

(会長)

記号の用い方は今後工夫が必要だろう。

⑦計画の推進分野

(会長)

最後の⑦計画の推進について、事務局から説明をお願いします。

(事務局)

【評価シート、資料1 事前質問一覧】

【計画の推進分野の説明】

(会長)

シートの記入をお願いします。

ー評価シート記入【7.計画の推進分野】ー

(会長)

コメントをお願いします。

(委員)

計画の推進ということで、参画度が低いのは分かるが満足度がかなり低いということとは、市民の関心がないという解釈をすればよいか。

(事務局)

この分野は毎年数値が低く大変悩ましいところではあるが、今回は特にアンケートの手法を変えたことで、全体としては上がってきているが、相関図で見ると他の分野に比べて低い位置にある。まちづくり全体に対する取り組みの評価がこの分野だと思うので、ここが低いということは相対的に印象としてまだまだ足りないと思っている市民が多いのだというふうに受け止めている。

(委員)

施策 N0. 45「広域連携」の成果指標 2「近隣自治体人口減少率」が人口減少率なのに人数で出ている。

施策 N0. 46「情報化」の成果指標が当初の数値が 100%で目標値も 100%であり指標としてあまりふさわしくないのではないか。

(会長)

ご指摘のとおりで、何がこの4年間で進んだのか一切見えない。

(会長)

本日シートを回収することなので、残り時間を使って記入いただければと思う。

(2) 外部評価報告書の作成及び答申について

(会長)

外部評価については、従来実施してきた手法だと一度この審議会場でご覧いただき承認いただく形をとってきたが、今回については私も含めみなさんの任期が8月1日で終了ということなので、本日いただいた意見とシートに記入いただいたコメントについて事務局と私で責任を持ってとりまとめをさせていただきたいと思う。最終的なとりまとめについては私に一任いただき、みなさまには事後の報告になるが、後ほど報告させていただきたいと思う。このようなとりまとめ方でよろしいか。

—異議なし—

(会長)

ありがとうございます。

本来であれば最終回なのでみなさまから一言ずついただきたかったのですが、残念ながら時間の関係でそれも難しくなってきました。事務局としましては今回の評価の仕方についてもみなさまからのご意見をいただきたいと希望していますので、ぜひご意見等お寄せいただければと思う。

5. その他

(会長)

それでは進行を事務局にお返しする。

閉 会

(事務局)

長時間にわたりありがとうございました。また、委員のみなさまにおかれましては2年間本当にお世話になりありがとうございました。ここで事務局を代表して部長の藤山よりごあいさつさせていただく。

(藤山企画振興部長)

委員のみなさまには何かとお忙しい中、この総合計画審議会委員としてご審議いた

だきました。本当にありがとうございました。また、岩崎会長様、今日のご欠席ですが加納副会長様におかれましては、大変ご苦勞をおかけした中でこの審議會をとりまとめていただきました。ありがとうございました。任期中は総合計画の第3次基本計画の策定、また本日のこの外部評価、そして自治基本条例の見直し検討と大変内容の濃いものとなり、特に昨年は夏以降毎月のようにお集まりいただき熱心な審議をいただきました。特にみなさまと共に作り上げました第3次基本計画につきましては、先日6月議会で議決をいただいたところですので、これから4年間みなさまの想いと共に推進していくこととなります。委員のみなさまの任期につきましては、来月1日で満了となりますが第3次基本計画はスタートを切ったばかりですので、みなさまには引き続き様々なお立場で計画の推進にご協力いただければと思っております。最後になりますが、委員のみなさまのご健康とご多幸、今後益々のご活躍をご祈念申し上げましてお礼のごあいさつとさせていただきます。本当にどうもありがとうございました。

(事務局)

それではこれもちまして、本日の審議會を終了する。ありがとうございました。